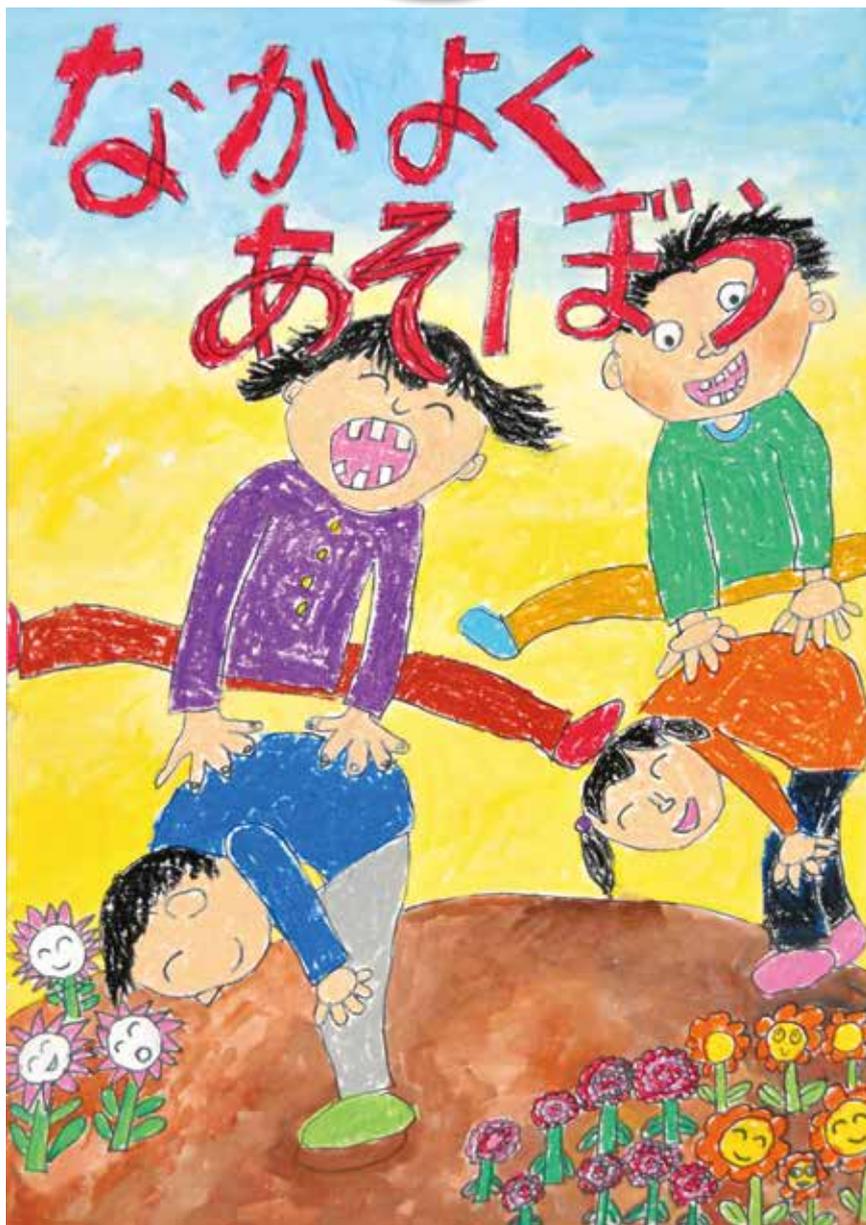


# ヒューマン 上田

ヒューマン上田とは…

Humanとは、「人間の」とか「人間的」と訳されます。  
一人ひとりの人権を大切にする明るい上田市であることを願い、  
名付けられました。



「なかよく  
あそぼう」  
西小学校二年 碓氷  
愛華

## 特集

### 身の回りから「虐待」につながる 「体罰」をなくしましょう

～今、体罰への意識を  
変えていくことが求められています～

## もくじ Contents

- 特集 身の回りから「虐待」につながる「体罰」をなくしましょう  
～今、体罰への意識を変えていくことが求められています～ … 2
- 人権に関する市民意識調査を実施しました …… 4
- 上田市人権啓発推進委員会活動紹介 …… 5
- 最優秀人権啓発作品 …… 6

# 身の回りから 「虐待」につながる「体罰」をなくしましょう

～ 今、体罰への意識を変えていくことが求められています ～

## 虐待のほとんどは「体罰」だとされています ここで「体罰」の具体例を確かめておきましょう

(厚生労働省「体罰等によらない子育てを広げよう!」パンフレットより)

### 体罰の具体例

- ・言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬をたたいた。
- ・大切なものにいたずらをしたので、長時間正座をさせた。
- ・友だちを殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴った。
- ・物を盗んだのでお尻をたたいた。
- ・宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった。
- ・掃除をしないので、雑巾を顔に押しつけた。

### 子どもの心を傷つける行為の具体例

- ・冗談のつもりで「お前なんか生まれてこなければよかった」など、子どもの存在を否定するようなことを言った。
- ・やる気を出させるという口実で、きょうだいを引き合いにしてけなした。

**体に何らかの苦痛や不快感を引き起こす行為は「すべて体罰」です  
そして子どもの心を傷つける行為は心理的虐待となります**

国内調査によると、**しつけのために、子どもに体罰をすることに対して、約6割の人が肯定的**でした。つまり「体罰も時には必要」だと考えている人が多いということです。このような日本の社会意識の中で、虐待死事件は起きているのです。

2018年 セーブ・ザ・チルドレン調査(国内2万人対象)

## 国内の主な虐待死事件

**体罰をした側は、「しつけだった」と主張しています。**

①2018年に虐待死した5歳の子は大学ノートに、こんな反省文を残していました。

「(略)もうおねがい ゆるしてくださいおねがいします  
ほんとうにおなじことはしません。ゆるして」

②2019年に虐待死した小学4年生の子ども、学校でのアンケートにこう答えています。

「お父さんにぼう力を受けています。夜中に起こされたり、起きている時にけられたり、たたかれたりされています。先生、どうにかできませんか。」

しつけと体罰との間に境目はありません。

体罰は虐待へとエスカレートしやすく、大切な命が脅かされることにもつながります。

虐待は、**時には体罰も仕方ないと考えてしまう人の意識、社会的風潮**が生み出すものです。

## 世界で初めて子どもへの体罰を法律で禁止した スウェーデンはこう変わりました！

1960年代

**体罰肯定派 60%弱** ※今の日本と似ている

実際に体罰をしていた人：90%以上（100人中90人）

1970年代

**あらゆる場面で子どもへの体罰を法律で禁止**

政府挙げての広報キャンペーン徹底など

2018年

**体罰肯定派 1%程度**

実際に体罰をしている人：2%程度（100人中2人）

意識  
の  
変  
化  
も  
あ  
っ  
て  
激  
減

1970年代半ばに  
義理の父による虐待で  
子どもが殺される  
事件が発生し  
社会問題になりました。

### リンドグレンの「ネバー・バイオレンス（決して暴力は振るわない）」というスピーチから (1978年)

※リンドグレン：スウェーデンの有名な児童文学作家 代表作『長くつ下のピッピ』

ある日、幼い息子が罰に値すると思えることをしたので、母親は言い渡しました。

「森に行って、お前を叩くのに使う樺の枝を見つけてきなさい。」

男の子はなかなか戻ってきませんでしたが、ついに泣きながら帰ってきて、こう言いました。

「樺の枝は見つからなかったけど、石を持ってきたよ。これを僕にぶつければいいよ。」

その時突然、母親は息子の視点から状況が見えるようになり、涙があふれてきました。

男の子はきっとこう思ったのでしょう。

「お母さんは僕を傷つきたいのだから、石だって使うだろう。」

母親は息子を抱きしめ、2人でしばらく泣きました。そして、台所の棚の上に石を置き、いつもそれを見てこの時立てた一生の誓いを思い出しました。その誓いとは、決して暴力を振るわないということでした。

(2009年 Save the Children Sweden より)

スウェーデンでも長い時間をかけて、スピーチにあるような意識を広めていったのです。

## 日本でも法制化を進め、 世界で59番目の体罰全面禁止国になりました！(2020年2月)

「児童虐待の防止に関する法律」(児童虐待防止法)改正…親権者などによる体罰禁止(2022年施行)

「児童福祉法」の改正…市町村や児童相談所の体制や権限の強化(2022年施行) など…

子どもが望んでいることは…

暴力でも言葉でも傷つけられたくない  
大切にされたい！



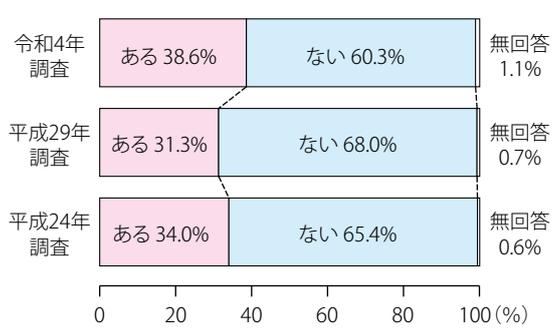
体罰のない子育てのために私たちにできること

- 子どもの気持ちに寄り添った子育てが大切なことを周囲の人と話し、そして広めていきましょう。
- 子育てに悩んでいる人がいたら声をかけて、できるだけ手助けしていきましょう。
- 虐待の疑いを感じた時には、迷わず通報しましょう。(間違ってもいいとされています。) 通報先は189(いちはやく)です。最寄りの児童相談所につながります。

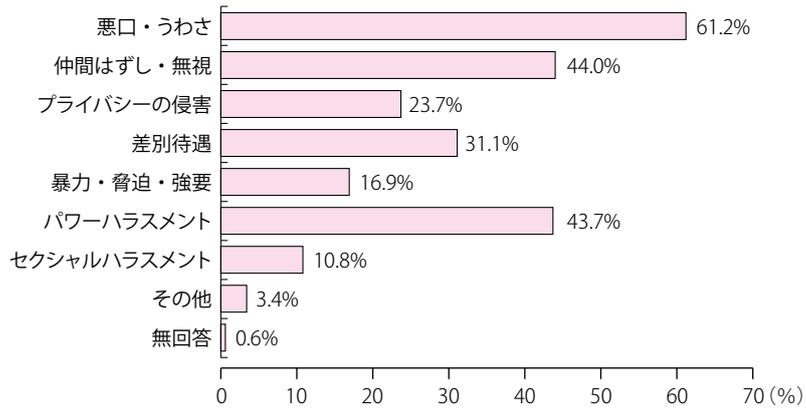
# 人権に関する市民意識調査を実施しました

- ① 調査目的** 人権問題に関する市民の意識や実態を把握し、上田市の人権教育推進の基礎資料とするとともに、今後の人権施策の推進の参考とするため。(前回調査は平成29年8月に実施)
- ② 調査方法** (1)【調査地域】 上田市全域 (2)【調査対象】 市内在住の18歳以上の男女2,000人  
(3)【抽出方法】 令和4年7月1日現在の住民基本台帳から男女1,000人ずつ  
(4)【調査期間】 令和4年8月25日から9月15日まで
- ③ 回収結果** (1)【到達数】 1,995件(2,000件中) (2)【回答数】 841件(42.2%)
- ④ 調査結果** 設問41問中、4問を抜粋して、結果をご紹介します。

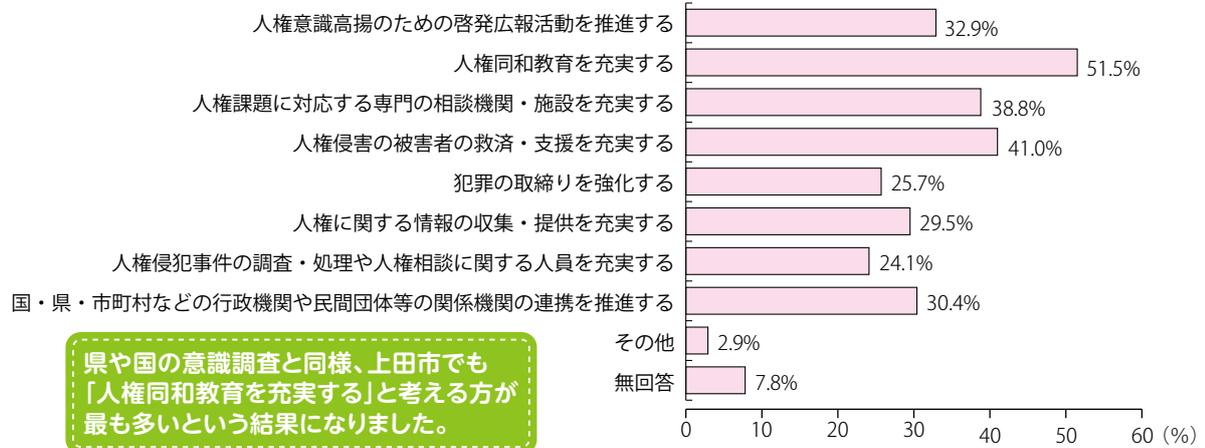
## (1)あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。



## (2)その人権侵害は、どのようなものでしたか。

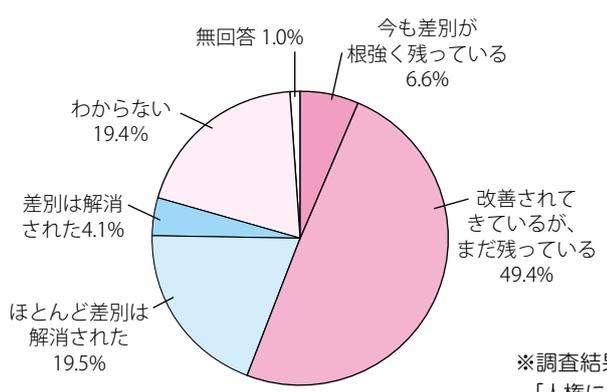


## (3)人権課題を解決するために必要と思われることは何ですか。



県や国の意識調査と同様、上田市でも「人権同和教育を充実する」と考える方が最も多いという結果になりました。

## (4)あなたは、同和問題についてどのようにお考えですか。



平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。今もなお、部落差別は解消されず悩み苦しんでいる方々がおられることを国が認め、その差別解消に向けた取組を推進していくために国が定めた法律です。  
一人ひとりが部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け行動し、誰もが人間らしく幸せに暮らせる社会を実現していくことが重要です。

※調査結果の詳細については上田市のホームページ「楽しむ・文化・スポーツ」生涯学習の「人権に関する市民意識調査」をご覧ください。

いのち・愛、そして絆を大切に作るまちづくり

## 上田市人権啓発推進委員会 令和4年度の活動紹介

上田市人権啓発推進委員会は、各団体の代表や自主的に入会した約110名の市民で構成されています。当委員会では、お互いの人権を尊重し、あらゆる差別をなくそうと学習や市民への啓発活動を行っています。

より多くの皆様に当委員会を知って参加していただきたく、この1年間の主な活動をご紹介します。



10月13日(木)に「人権を考える市民のつどい」を開催しました。コロナ禍で3年ぶりの通常開催となった今年の講演会は、書家の金澤泰子さんのお話と、お子さんである金澤翔子さんによる揮毫パフォーマンスでした。参加者からは「お話にも揮毫にも感動しました」との感想が多数寄せられました。人権啓発推進委員会の活動の様子を知っていただく良い機会ともなり、有意義なつどいになったと思います。

私が知人から聞いたエピソードから感じたことを述べたいと思います。

気圧の影響で体調を崩す方が同じ職場にいたそうです。早起きするのが大変で、午後からの出勤が何日か続いて気に病んでいた時、職場の仲間が「私も血圧が不安定なせいか頭痛がひどくて

上田市人権啓発推進委員会 会長 土屋 彰

何日も休んだことがあるよ。本人の辛さは周りからはわかりにくいよね。」と話しかけ、そのおかげで午後出勤をしていた方は気持ちが楽になったそうです。話しかけた方は似たような体験があったから、相手の立場に立って声かけられたのでしょう。私には似た体験もなく、ワクチン接種でもほとんど副反応がないので、頭痛とか倦怠感なども感じたことはありません。ですから、私なら「そんなものは気の持ちようで何とか頑張れる。怠慢じゃないのかな。」と思ってしまいかもしれません。

私たちは他の人と同じ体験はできませんが、自分をその苦しい立場に置いて考え、わからないことは努力して理解しようとすることはできると思います。それが人の痛みを知り、優しい気持ちになることに通ずるのではないかと思います。相手の立場に立って考えることは人権を大事にする第一歩ですね。

## 委員研修

令和4年7月

今年度の委員研修会は7月8日～8月4日まで上映された全国水平社創立100周年記念映画、島崎藤村の「破戒」を鑑賞しました。

「父から出自を隠し通すよう強い戒めを受けていた被差別部落出身の丑松は、出自を隠していることに悩み、苦しんでいた。そして、彼が信じていた被差別部落出身の思想家が暴漢に襲われたことをきっかけに戒めを破り、これからの人生を歩んでいく。」物語です。

同和問題の研修会には何回か参加していますが、その研修内容から自分が想像していたことよりも酷い差別のシーンがあり、汚らしい人として扱われたことに心が痛みました。

明治4年、「解放令」が出されました。しかし、被差別部落の人々が差別や貧困から解放されるものではありませんでした。今も課題となっている同和問題。「破戒」を鑑賞して、「自分は正しい理解ができていたのだろうか?」と考える機会となりました。

## 人権を考える市民のつどい 令和4年10月13日

「第17回人権を考える市民のつどい」は、書家の金澤翔子さんとお母様の金澤泰子さんをお迎えして、サントミュージアム大ホールで開催しました。

無心に筆を運ぶ翔子さんの揮毫パフォーマンスに続いて、泰子さんの、「ダウン症の娘と共に生きて」と題した講演が行われました。



ダウン症の子どもを授かった絶望。やがてありのままの娘の存在を受け入れて、共に歩んだ日々の出来事を通して、一人ひとりが持っている可能性を信じることの大切さを伝えていただきました。

外は曇り空でしたが、会場には微笑みがあふれ、出席された約800人の皆さんの心には、温かい太陽の光が差ししてくるようなつどいとなりました。

また、「市民へのアピール」として、上田市人権啓発推進委員会土屋彰会長からの、「誰もが幸せを実感できる社会を目指しましょう」とのメッセージに続き、研修係、作品審査係、ヒューマン上田係、人権展係、啓発係からの活動紹介を行いました。



## 人権週間～街頭啓発～

令和4年12月5日

「世界人権宣言」が採択された12月10日を「人権デー」と定めたことから、この日を最終日とする一週間を「人権週間」として毎年全国的な啓発活動が行われています。

今年度は12月5日にJR上田駅をはじめ、市内の数か所で、感染防止対策を十分しながら、街頭啓発活動を行いました。

上田駅前では人権擁護委員や人権啓発推進委員が「おはようございます。人権週間が始まりました。」と声をかけながら、「『誰か』のことじゃない」と書かれたパンフレットを、市民の皆さんにお渡ししました。受け取っていただいた皆さんの中には「ありがとうございます。そうか人権週間なんですね。」と話される方や「今年の人権週間の重点は何ですか?」と聞かれる方もいらっしゃいました。



街頭啓発

## 人権作品審査

令和4年12月7日～令和5年1月6日

今年は特に高校生から多くの作文が寄せられました。全体に自分が体験したことや様々な人権問題の学習の中から題材を設定し、差別や偏見を見つめ直す作品が多く見られました。

ポスターでは図案を工夫し、文字の配置を考えた見やすい作品が中学生から多く寄せられました。

作文・ポスター共に家庭生活や学校での友との交流、様々な学びの場を通して実感した「人権を守り、大切にしたい」という願いが込められていました。標語を含め選出された作品は今年も人権啓発活動に活用させていただきます。



作品審査

# うえだ人権フェスティバル

令和5年2月25日

今年は3年ぶりに人権フェスティバルを中央公民館にて開催しました。

今回は、長野県出身の伊藤ひよりさんをお迎えし「鵬程万里 歌と私と僕」と題し、ピアノ弾き語りと、トランスジェンダーとして生きてきたご自身のこれまでについてお話しいただきました。

ひよりさんは、男性の身体で生まれてきましたが、心は女性の性同一性障害がある方です。3歳から始めたピアノと歌が大好きになりました。しかし、ご自分の低い声が受け入れられず悩み、苦しみ、たくさんの葛藤を抱えながら必死に生きてこられました。その中で、多くの方と出会い、勇気の出る言葉をもらい「この声は、私だけのもの」と、ありのままを受け入れ、音楽に生きる場所を見つけました。自分の声で思いや願いを



を皆さんに伝えたい、とチャーミングな笑顔とやさしい歌声でお話しくださいました。

自分が自分として生きていける！そういう社会になっていくことを強く願う講演会となりました。

## 令和4年度

# 最優秀人権啓発作品

上田市人権啓発推進委員会では、多くの方々に人権尊重への理解を深めていただくため、毎年、上田市教育委員会とともに人権啓発作品(作文・詩・標語・ポスター)を募集しています。

今年度も小中学生をはじめたくさんの方々に、応募していただきました。その中から最優秀作品に選ばれた作品の一部を紹介します。



▲うえだ人権フェスティバルで表彰式が行われました。(令和5年2月25日)

### 詩の部

## 心がぼかぼかして あたたかい

東塩田小学校二年 淀川 符

ふわふわことばを言ったんびになかよしのきずなが ふかまっていくよ  
「えんぴつひろってくれて、ありがとう」  
「いっしょにあそべて、うれしかった」  
「明日も、いっしょに、あそぼう」  
このことばが、うれしかったよ  
やっぱり、ぼかぼかになったよ

それで、ぼくは、思ったんだ。  
人はきずながふかまっていくところに  
ころろが、ぼかぼかするんだなって。

この気もちをわからせてくれたのは  
一番の友だち、かいくんだよ。

毎日、毎日、ふわふわことばが、でるんだよ

「いっしょにあそんでくれて、ありがとう」

「やっぱり、ぼくたち二人は、さいきょうの友だちだね」

かいくんと、話したんびに、ぼかぼかして

うれしいってことは、

きずなが、ふかまってるってことだね。

ふわふわことばって、お花にも、ざつ草にも

つたわるんだよ

ふわふわことばって、すごいことばだなあ

### 詩の部 最優秀賞 受賞者

いっしょ

東小学校一年 武捨 陽采

心がぼかぼかして あたたかい

東塩田小学校二年 淀川 符

いじめ

南小学校三年 岩崎 愛佳

友達にしたことはかえってくる

川西小学校五年 内田 茉那



標語の部

みんなでね

やさしいきもち みつけよう

清明小学校 一年 橋爪 陽香

友だちは

きらきら光る たからもの

神川小学校 二年 山際 栗菜

助け合い

ささえあおうよ みんなでさ

神川小学校 三年 半田 緑

助け合い

広げていったら すてきだな

塩田西小学校 四年 小林 莉菜

こまったら

すぐに言ってねひとりじゃやない

中塩田小学校 五年 大森 彩音

どうしたの

見て見ぬ振りを やめようよ

西小学校 六年 依田 みらい

ほっとくの？

差別されてる あの子をさ

第五中学校 一年 南村 小鉄

知ることが

偏見なくす 第一歩

第二中学校 二年 北原 和

やさしさを

守る人権 光る未来

第六中学校 三年 春原 穂乃花

誰でも持つてる 言葉のナイフ

あなたは人に向けてない？

上田東高等学校 二年 近藤 彩華

一人の勇気がみんなを変える

みんなの力が未来を変える

敬老園 関 光徳

作文の部

人を「軽蔑」する言葉

第四中学校 二年 トウブシン ビレグ

「人権を尊重しよう」よくきく言葉です。その元となるのは「他人を尊重すること」と私は解釈しています。では、その逆、つまり尊敬の逆とは何でしょうか。辞書を調べるところ書いてありました。「軽蔑」。

先日、クラスの人と話している時に、彼が「Aさんって太っているくせに足が速いよなあ」と言いました。Aさんというのは私たちのクラスメイトです。確かにAさんは肥満体型です。走るの速いということも間違っているとは思いません。ただ、友人のもらした言葉の一部に私はとても違和感を覚えたのです。それは「太っているくせに」という言葉です。色々な場面で耳にする「○○のくせに」という言葉です。学校内でもよく聞くのは「女子のくせに」という言葉です。「勉強ができないくせに」や「家が貧乏なくせに」というのも聞いたことがあります。テレビやインターネットでも「くせに」という言葉があふれています。「韓国人のくせに」「障害者のくせに」など。

「人権を尊重しよう」という言葉をはじめとするすべての争いが発生する原因がここにあるようにさえ思えてきます。いい意味で自分は自分、他人は他人でいいのではないのでしょうか。他人を軽蔑することは自分の価値さえ落としているような気がします。

先ほどの友人とは、あとになって「くせに」という言葉について話をしました。彼は「じゃあ他に言い方ある？」と尋ねてきたのですが、私もすぐに答えを出すことができませんでした。少しの間、考えていると、彼が突然ひらめいたように言いました。「Aさんは足が速い」でいいんだ」と。私も賛同しました。「太っているくせに」という言葉はなくても、考えていることは間違いなく伝わるのです。「○○のくせに」は元から余計なのです。

「Bさんは女のくせに生徒会長に立候補した」ではなく、「Bさんは生徒会長に立候補した」でいいのです。「Cくんは家が貧乏なくせに新しい靴を履いてきた」ではなく、「C君は新しい靴を履いてきた」でいいのです。

結局は偏見なのだろうと思います。偏見から「○○のくせに」という思いが生まれ、それが軽蔑となり、争いに通じていくのかも知れませんが、誰にでも特徴があります。良い特徴も、悪い特徴もあります。その特徴を認めて(もしくは気にせず)付き合っていくことが、身近な場面で人権を考える第一歩になるのではと思います。

作文の部

最優秀賞 受賞者

ぼくたちのクラス

西小学校 二年 青柳 雄大

なかよくできる親友

丸子中央小学校 三年 柳原 愛空

友達を大切にしたこと。

東塩田小学校 四年 清水野々風

今を大切に生きる

西内小学校 五年 田中 莉恋

おばあちゃんの笑顔

豊殿小学校 六年 伊東 ぼのか

ハンセン病の向こう側

第二中学校 一年 田部井 光彩

人を「軽蔑」する言葉

第四中学校 二年 トウブシン ビレグ

部落差別を学んで

依田窪南中学校 三年 清野 越百

ボランティア活動の

おかげで

上田東高等学校 二年 木内 瑞姫

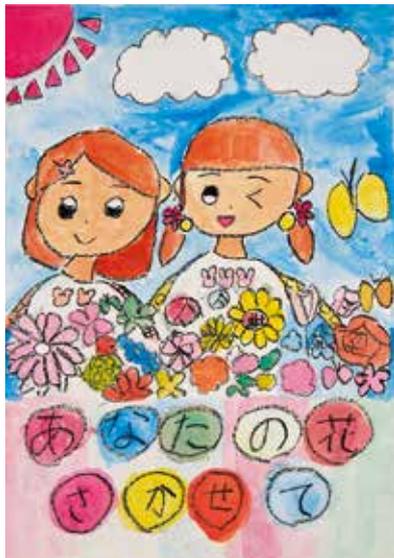
ポスターの部



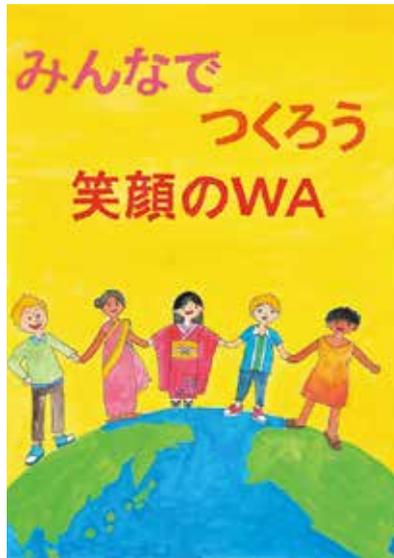
いっしょだと たのしいね  
浦里小学校 一年 池田 莉子



いじめはゆるさない  
丸子北小学校 三年 戸部 恭之介



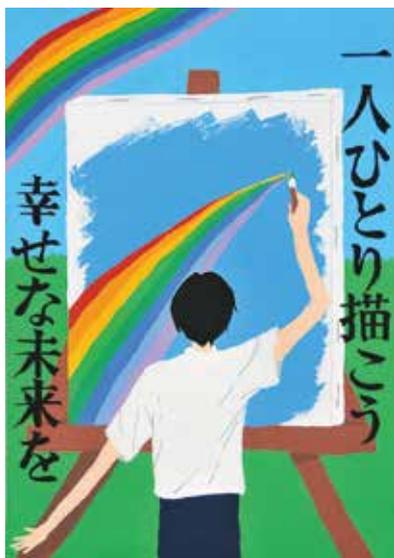
あなたの花 さかせて  
川西小学校 四年 佐々木 千尋



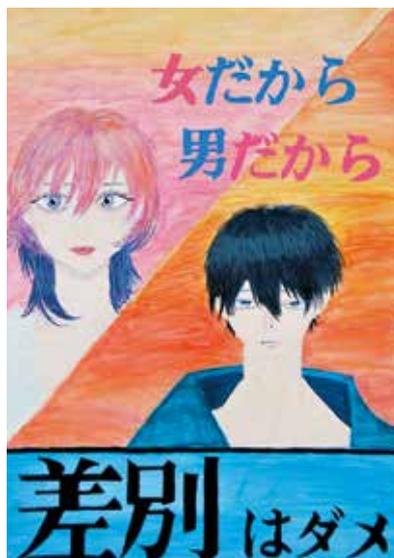
みんなでつくろう 笑顔のWA  
清明小学校 五年 山本 千愛



くらべない 1人1人が 主役だよ  
東小学校 六年 横沢 碧



一人ひとり描こう 幸せな未来を  
第五中学校 一年 塚原 帆花



女だから 男だから 差別はダメ  
第四中学校 一年 工藤 瑠綺奈



勇気を出して きっと誰かの心救えるよ  
第四中学校 二年 永井 咲良

\*表紙について\*

令和4年度の人権啓発ポスターの部において最優秀作品に選ばれた作品です。カラフルな色づかいがみんなの気持ちを明るくしてくれる作品です。上田市人権啓発推進委員会では、市民の皆様お一人おひとりの個性が輝き、笑顔があふれる住みやすい上田市になるよう、心を一つにして人権啓発に取り組んでいきます。

上田市人権啓発推進委員会へのご意見、入会申込み(年会費500円)は事務局まで。

《事務局》上田市教育委員会 生涯学習・文化財課 TEL.23-5197